



『結果が全てではなく目標に向かって 真剣に取り組む姿こそ美しい』

「能ある鷹は爪を隠す」というのか、人前では意欲のない態度を見せていて、結果だけはきちんと残す。それがカッコいい生き方と言え、そうかもしれないが、世の中そんなに甘くない。最大限に自分自身の力を引き出そうとするなら、日頃から意欲的に120%の力を出し切ろうと努力すべきである。自分を奮^{ふる}いたたせて追い込んでこそ、思いもよらない力が本番の大舞台で発揮できる。

10月1日に開催された広島県総合体育大会で、陸上部森本昇悟君が、走り高跳びにおいて187cm(自己ベストを5cm更新)の記録を出し、みごと2位に輝いた。次の190cmに挑んだが無念のけがで優勝できなかったが・・・。

皆さん、想像してみてください。190cmですよ。平山先生が183cmですから、「平山先生を余裕持って飛び越える」・・・考えられない世界です。まさに乾坤一擲(けんこんいってき)

【天地どちらに転ぶかを賭けた一世一代の大勝負を意味する語】
日頃の鍛錬^{たんれん}と綿密な指導・周りの支えが実を結んだ快挙でした。

明日は、いよいよ文化祭です。乾坤一擲。言い過ぎですが、学級にとっては一世一代の大勝負!どの学級も日頃の成果が存分に発揮できるよう祈っております。頑張ってください。



～追伸～

本年度も、3年生有志(28名)による筆魂「烈火東魂」が披露されます。

3年生が、熊野東中学校の伝統を継承する誇りを持って魂の演技を行います。ぜひ、熊野東中学校でしかない本物の「烈火東魂」をご覧ください。



